

## 優良老人クラブを初受賞

10月12日、第55回沖縄県老人クラブ大会が行われ、前兼久老人クラブ（登川喜雄会長）が村内初となる「優良老人クラブ」を受賞しました。

前兼久老人クラブは、独居高齢者や障害者へのゆんたく訪問やお弁当の配達、電球の取替えや手すりの取り付けや修繕、自宅の草刈りなどの日常生活の支援活動を積極的に行うとともに、子ども会と一緒にカレーライスなどを作る「昼食会」や「夕涼み会」などを開催するなどとして子どもたちとの交流も深めてきました。また、ミニ文化展の開催や障害者施設への慰問活動、老人クラブ独自の広報誌「かりゆし新聞」を発行し広く区民へ周知する取り組みも続けてきました。

他区の老人クラブとの交流にも積極的で、ゲートボール交流会や活動内容の報告会、意見交換などを通してそれぞれの長所を学びながらクラブの活性化を図ってきたことが高く評価されました。

登川会長は「皆の考えがプラス思考になった。班長などの役員数を増やすなどして皆が役割を持つことで色々なことができるようになった。健康になり、生きがいにもなっている」と話し、今後の目標として「もっと他の区と交流を深めていきたい」と抱負を述べました。長浜村長からは「子どもが少なくなってきた中、老人クラブの活動が地域と村を生きいきさせています。これからも地域を盛り上げてください」と激励の言葉がありました。



## 名嘉真区ふるさと 農村環境づくり

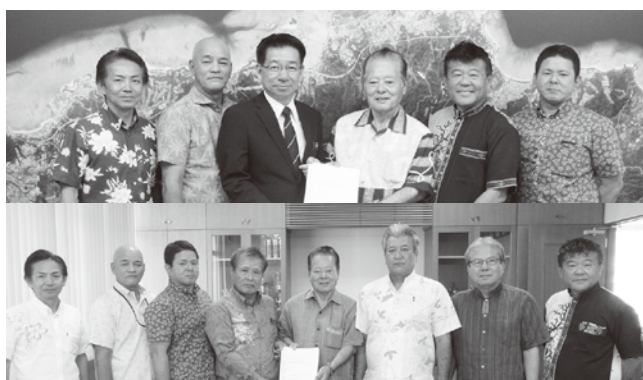


11月1日、名嘉真区が主体となって子供育成会、婦人会、農家の農業体験交流イベントが実施されました。

堆肥を捲き、土作りからレタス・ジャガイモの植え付けなどを行い、農業を通して自然の大切さを実感し地域生産者の事を知る良い交流会となりました。今回のイベントで採れた野菜は名嘉真区で2月に行なわれる産業まつりで来場者に振る舞われる予定です。

今回のイベントは、沖縄県ふるさと農村活性化基金事業の助成を受け、実施しました。

## 観光目的税導入を 村の各団体が提言



恩納村地域づくり推進委員会（當山憲一委員長）、村区長会（石川要会長）、村漁業協同組合（山城正巳代表理事組合長）、村商工会（渡嘉敷勉会長）、村観光協会（照屋修興会長）、村GM会（玉城智司会長）は11月22日、長浜村長を訪ね「観光目的税の導入に関する提言書」を手渡しました。

當山委員長は「『世界一サンゴにやさしい村』に向けた取り組みを観光客の皆様と一緒に展開し、恩納村を環境と観光が高次に融合した世界でトップクラスのリゾートとしていくことが望まれる」と述べ、長浜村長は「審議会に諮り、条例につなげたい」と答えました。提言書は28日、村議会にも提出されました。